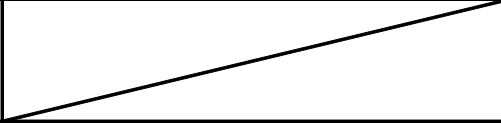
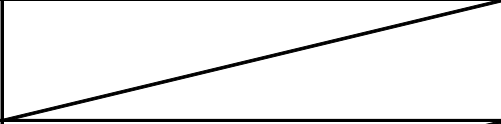
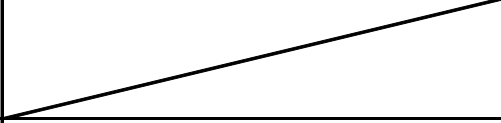


児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和元年 12 月 26 日

事業所名： あんずキッズ 逆瀬川

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースを確保し、各部屋ごとの用途も分けています。	・子供たちが遊ぶ工夫も出ていて、広さも確保できている。・まだ、もう少し広いスペースがほしい。『 はい:75% どちらともいえない:17% わからない:8% 』	「わからない」・「どちらともいえない」との回答もあるので再度見学をしてもらえるような対応策も考えていきます。
	2 職員の適切な配置	指定基準通り、適切に配置しています。	・今のところ人数も適切と思います。・教室内での活動を十分に確認しているわけではないので判断できない。『 はい:50% どちらともいえない:20% わからない:42% 』	「わからない」・「どちらともいえない」との回答があるので今後は分かりやすくスタッフの人数を説明していきたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関・勝手口以外の教室内は、全面バリアフリーになっていてとても使いやすい施設にしています。	・特に危険な所はない。『 はい:92% わからない:8% 』	フロアで危険な場所はないが、念のためトイレ以外の扉は、指を挟まないようにフックで留めています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃・消毒で、清潔さを確保し障害の特性を考えた生活空間にしています。	『 はい84% わからない:16% 』	今後もこの状態を継続していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月1回のミーティングで、社内報告及び改善点を確認し、出勤時に前日の内容確認を行っています。		毎月続けていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。		実施の有無等を検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回程度の社内研修、外部講習会への参加。		今年は、発達支援センターが開催する発達講座に2名参加しました。今後はもっと多くの外部研修に参加できるようにしていきたいです。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年ごとに課題の整理を行い、個別支援計画書を作成しています。	・発達支援センターでの面談時のまとめとほぼ同じにしてくれています。・相談支援事業所の方から、話はよく聞いてもらっているようですが施設での面談もしたい。『 はい:75% どちらともいえない:17% いいえ:0% わからない:8% 』	今後も継続していきます。(今までの口頭だけの案内ではなく書面での案内も行っていきたい。)
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動を通して個々に合わせた支援と、ニーズ調査シートを基に計画書を作成しています。	『 はい:75% どちらともいえない:17% いいえ:0% わからない:8% 』	今後も継続していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	アセスメントに基づき支援内容を決定し、お子様に合った支援内容を記載しています。	『 はい:84% どちらともいえない:8% いいえ:0% わからない:8% 』	今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に沿って支援を行っています。	『 はい:75% どちらともいえない:0% いいえ:0% わからない:25% 』	今後も継続していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月間スケジュールを指導員のリーダーを中心に色々な経験が出来る様考えています。	・毎月楽しそうなプログラムで、見るのが楽しみ。 ・子どもが興味を持てるようなイベントや工作など考えてもらっています。 ・とても工夫されたプログラムになっており大変嬉しいです。 『 はい:92% どちらともいえない:0% いいえ:0% わからない:8% 』	これまで以上に、スタッフ全員で新しいプログラムを考え、お子様に喜んでもらえるよう努力していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日:月のスケジュールに沿った支援を行います。 長期休暇:お迎え時間を出来る限り都合に合わせて、お子様の喜ぶイベント等を多く取り入れています。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事を取り入れたプログラムや持ち帰る事のできる工作を多く取り入れています。(特に工作は学校の課題にも対応できる物を考えています。)		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に、利用予定のお子様とプログラムの確認を行ってからプログラム担当とプレイルームの見守り担当を決めています。		今後も継続していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎の都合により、できる日とできない日があります。		1日の支援の様子を振り返り、出来る限り情報を共有化できるようにしていきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別記録表の記入。		見やすく効率的な書式があれば参考にし、必用と思われる項目をスタッフ全員で意見した上で、今後変更するかを考えていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年2回、約6ヶ月おきにモニタリング・個別支援計画の見直し・作成をしています。		今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	管理者が相談支援事業所と連絡を取って、情報を共有しています。		障害児相談支援事業所の相談員の先生がお子様を見学に来て話をする事はありますが今後、機会があるか必要であれば考えていきたいです。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	訪問看護ステーションと連携する事でお子様によりよい支援ができないか検討しています。		今後必要かどうかを保護者の方とも相談していきたい。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	看護師との連携により、お子様の体調管理等の充実を図れないか検討しています。		今後必要かどうかを保護者の方とも相談していきたい。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業所を通して、支援内容等の情報共有のみ行っています。		今後必要に応じて、各関係機関とも情報を共有できるようにしていきたい。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	問い合わせがあれば、丁寧に対応させて頂きます。		必要であれば、対応させて頂きます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	あまり参加できていません。(今年度は発達支援センターの発達講座、2テーマに参加させていただきました。)		社内研修で、参加したスタッフから報告をしてもらいました。今後も出来るだけ時間を作って、多くのスタッフに参加してもらいたいです。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	以前は児童館とも交流はあったが、相手側の事情により今は交流していません。	・機会はないが別によいと思う。 ・活動をしたという報告がなかった。 『 はい:25% どちらともいえない:25% いいえ:25% わからない:25% 』	保護者さまからの要望があれば考えるが、基本、相手方の事情もあるため今のところ考えていません。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今のところ、できていません。		—

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時に支援内容・利用方法・施設の説明をし、契約時に重要事項説明で利用者負担等の説明を実施しています。	『 はい:84% どちらともいえない:16% 』	今後もわかりやすく説明できる様に努力していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談ができる方には、その時に説明。忙しく面談が無理な方には、書類の確認をして頂きサインをもらう形になっています。	『 はい:75% どちらともいえない:8% いいえ:17% わからない:0% 』	今後は出来る限り面談で直接お会いできるように、直接電話で日程調整をするなどの対応を心がけていきたいです。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在は、行っていません。		現状出来ていませんが、必要に応じた支援の準備をしていきたいです。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に様子を伝え、連絡帳にも様子や状況を記入しています。	・連絡帳に加え、送迎の際に口頭で説明をもらっている。 『 はい:75% どちらともいえない:17% いいえ:8% わからない:0% 』	今後も余裕をもった送迎で、保護者さまに口頭で報告できるように心がけていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった場合は、出来る限りの対応と助言は行っています。	・送迎時以外では、お話する機会があまりない。 『 はい:34% どちらともいえない:25% いいえ:34% わからない:7% 』	保護者さまが忙しいと気を遣っていましたが、今後はこちらからも面談を勧めるよう努力していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していません。	保護者同士の関わりは、特にありません。	希望があるようなら検討するが、特に保護者さまからの要望も今のところないです。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する対応は契約時に説明し、苦情があった際には迅速に対応できるように心がけています。	『 はい:50% どちらともいえない:16% いいえ:0% わからない:34% 』	あった場合は迅速に対応できるようにします。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者とは基本、連絡帳を利用して情報交換を行っています。	『 はい:84% どちらともいえない:0% いいえ:8% わからない:8% 』	前は「どちらともいえない」が40%あったが、スタッフの努力で意思の疎通や情報伝達ができるようになってきている。今後もこのまま続けていきたい。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事予定や活動報告は、ホームページにて提供しています。今のところ会報等の予定はありません。	『 はい:50% どちらともいえない:17% いいえ:8% わからない:25% 』	月1回の行事予定表の更新、日々の出来事をブログ更新しているが、まだまだ保護者さまに認識されていないのが現状のため認識してもらえるよう努力していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類は、事務所に保管しスタッフ全員が秘密厳守を心がけています。	『 はい:76% どちらともいえない:12% いいえ:0% わからない:12% 』	スタッフ全員、今後も十分注意して取り扱いしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルはあるが、保護者にまで丁寧に周知できていません。	『 はい:50% どちらともいえない:17% いいえ:8% わからない:25% 』	マニュアルの内容を保護者にもお伝えできるようにしていきたい。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	日頃からお子様・スタッフには、非常災害時の説明は行っているが、定期的な訓練実施には至っていません。今年度は、他教室と一緒に消防署から借りた水の消火器の使い方を練習しました。夏休みには、消防署見学ではしご車の実演と消防士さんから話も聞かせてもらいました。	『 はい:42% どちらともいえない:8% いいえ:8% わからない:42% 』	非常災害時に備えて、定期的な訓練の必要性をスタッフ全員が理解し、できるだけ訓練をできるように心がけていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	社内ミーティング内で、虐待防止の話は行っているが、研修を受けるまでには至っていない。		今後できるだけ、研修を確保できるようにしていきたい。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在対象になる児童はいません。		—
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時のアセスメントシートで、アレルギーを把握し、スタッフ全員がその事を知っています。		今後も継続していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	記録に残し、社内ミーティング時に報告しスタッフ間で共有しています。		今後も継続していきます。